



細井三男 無意識の世界展

1994年4月29日(金)~5月15日(日)

開館時間=午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 初日開館=午前11時

休館日=5月2日(月)、6日(金)、9日(月) 入場無料

主催=刈谷市、刈谷市教育委員会、細井三男・無意識の世界展実行委員会

後援=愛知県教育委員会、中日新聞社

〒448 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地

TEL(0566)23-1636 FAX(0566)26-0511

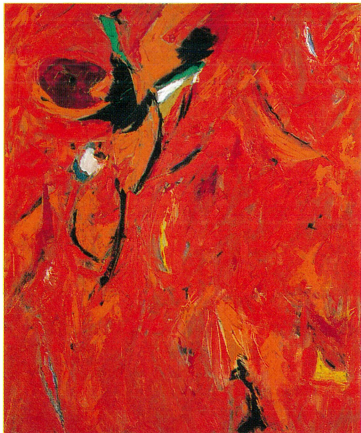
刈谷市美術館



逃げ道 1954年



道化師 1957年



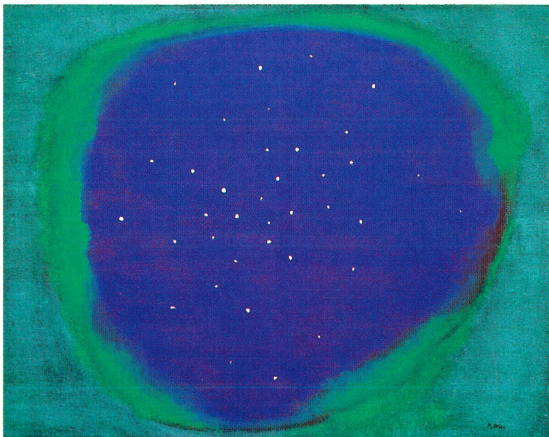
悪魔の現代 1964年



空間(青) 1961年



アイデアの世界 1973年



霊華の世界 1993年

人間の内的な精神世界を描きつづける画家、細井三男氏の愛知教育大学退官を記念して、初の本格的な展覧会を開催いたします。

細井氏は、昭和5年岡崎に生まれ、昭和28年愛知学芸大学(現・愛知教育大学)を卒業。引き続き研究員として母校で学びながら、春陽展へ出品を重ねています。当時、世界の美術界にまきおこったアンフォルメル旋風に触れ、作風を抽象から具象、アクションペインティングへと多様に変容させ、自己の絵画を追求しました。

昭和37年から翌38年まで東京芸術大学寺田春之教授の研究室に内地留学し、フレスコやアポッソなど古代壁画の技法を学びます。この時期、戦後経済大国として変貌していく日本社会が、内包するさまざまな問題や矛盾を悪魔や怪物の姿として捉え、動感のある画面構成によって表現した連作を発表しました。

昭和46年から翌年にかけて、文部省在外研究員としてベネチアのアカデミア・デ・ベレ・アルテに留学します。古典古代の画法の研究とともに、静謐なヨーロッパ神秘思想と出会い、画風を一変。象徴性をたたえた独自の画風を築きました。

帰国後の昭和49年愛知教育大学教授に就任。その傍ら、日伊絵画展、韓中日国際展、朝日美術展などに出品し、ますます評価を高めています。

本展は、春陽展に初出品した「逃げ道」から、古代壁画の技法で描かれたアポッソやフレスコ画の大作、新作「美女人物語」のペン画を含む100余点により、その芸術世界を紹介いたします。

細井三男
無意識の世界
展



サロメ 1992年

刈谷市美術館

■所在地
〒448 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地
TEL (0566) 23-1636 FAX (0566) 26-0511

■交通案内
JR東海道本線・名鉄三河線
[刈谷駅]下車、南口から徒歩7分

